

平成30年2月26日

保護者各位

国風第一幼稚園
園長 磯野洋子

ミニコンサートについて

平素は本園教育活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

さて、2月の行事予定でお知らせしましたとおり、ミニコンサートを下記のとおり実施します。

今回は、素晴らしい生のクラシック音楽と現代アートのコラボレーションで子どもや親御さんにもアート体験を楽しんでもらおうという、新感覚のコンサートを計画しました。子どもたちの心に何らかの良い影響があることを期待しています。

今回のミニコンサートは年長と年中の園児さん約200名を対象としますが、席に余裕がありますので保護者(全学年)の皆様の席を用意いたします。(大人が鑑賞していただいても十分に内容です。)

ご希望の方は、席の用意のために参加人数を把握したいので、下記申込書に必要事項をご記入のうえお申し込みください。

記

日時 2月6日火曜日 開場：12時20分 開演：12時30分
終演予定：13時30分

※ 演奏途中での入退出はご遠慮ください。

場所 お遊戯室

出演者 松田理奈 (ヴァイオリン) <http://linamatsuda.com/>
中山晃子 (画家/Alive painting) <http://akiko.co.jp>
丹千尋 (ピアノ) <http://www.tan-chihiro.com/>
プロフィールは裏面に記載

内容 松田理奈プロデュースのOTOART『MUSIC×ALIVE PAINTING』
詳細は当日のおたのしみです。
SPICE のインタビュー記事 <https://spice.eplus.jp/articles/163180>

※ 当日託児はありませんので小さいお子さんをお連れしてもかまいませんが、長時間にわたりますのでお子さまの状況によってはご配慮いただきますようお願いいたします。

-----き-----り-----と-----り-----線-----

ミニコンサート参加申込書

提出日：平成30年2月 日

- ・ ミニコンサート(2月6日火曜日 12:30~13:30)の参加を申し込みます。

組 保護者氏名

園児名

松田理奈

3歳よりスズキ・メソードにてヴァイオリンを始める。1989年桐朋子供のための音楽教室入室。東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校卒業後、桐朋学園大学リスト・ディプロマコースにて研鑽を積み、ドイツ・ニュルンベルク音楽大学、同大学院を首席にて卒業。2001年第10回日本モーツァルト音楽コンクールヴァイオリン部門第1位、同コンクール史最年少優勝。2002年にはトッパンホールにて「16才のイザイ弾き」というテーマでソロリサイタル開催。2004年、第73回日本音楽コンクール第1位。2007年、サラサーテ国際コンクールにてディプロマ入賞。

これまでに国内の主要オーケストラに加え、ハンガリー国立フィル、ヤナーチェックフィル、スーク室内オーケストラ、ベトナム響など数々のオーケストラや著名指揮者と共演。2006年ビクターより『ドルチェ・リナ』、2008年『カルメン』、2010年に『ラヴェル・ライブ』をリリース。同年収録のイザイの無伴奏ヴァイオリン・ソナタ全曲集は、「レコード芸術」誌上にて特選盤に選ばれた。そして2018年5月にブラームスとフランクのソナタを収録した5枚目となるアルバムをリリース。

また、昨年よりイープラスと共同で「クラシック音楽と現代アートを子どもの感性が繋げる」教育プログラム『OTOART』を展開中。

<https://livingroomcafe.jp/event/>【サンデー・ブランチ・クラシック】松田理奈p-3

愛知県でのコンサート予定

2018.03.24 加藤昌則 meets 松田理奈(幸田町民会館つばきホール)

丹千尋

1992年第25回カワイ音楽コンクール金賞。1994年日本フランス音楽コンクール中高生の部、最優秀賞。2000年ローゼンストック国際ピアノコンクール第1位

11歳で全日本ピアノ指導者協会主催「十代の演奏家」シリーズにてデビューリサイタルを行ったのを皮切りに多数のソロリサイタルを行う。原田幸一郎氏ら ATM アンサンブルと共演しブルックナー交響曲第7番の室内楽編を日本初演、音楽誌に絶賛された。国内外の教授や実力者から厚い信頼を受け、著名な演奏家との共演も数多い。

5歳で丹羽正明、藤井一興氏にスカウトされ、東邦音楽大学音楽研究所に在籍。12歳よりスカラシップを得て、洗足学園大学ピアノ演奏研究所の学外研究生となる。桐朋女子高等学校音楽科、桐朋学園大学演奏学科ピアノ専攻、同大学研究所を修了。

チャリティーコンサートの企画や参加を積極的に行い、福祉や動物愛護に音楽の方面から、生涯協力ができればと願っている。ソロアルバム『CHIHIRO』『One Earth』『ステンハンマルピアノ協奏曲日本初演(ライブ録音)』『アッテルベリピアノ協奏曲(ライブ録音)』他、多数のCDが絶賛発売中。

中山晃子

2012 東京造形大学 造形学部美術学科絵画専攻領域 卒業

2014 東京造形大学 造形学部美術研究領域 修士課程修了

画家。液体から固体までさまざまな材料を相互に反応させて絵を描く「Alive Painting」というパフォーマンスを行う。科学的、物理的な法則に基づくあらゆる現象や、現れる色彩を、生物や関係性のメタファーとして作品の中に生き生きと描く。ソロでは音を「透明な絵の具」として扱い、絵を描くことによって空間や感情に触れる。

近年では TEDxHaneda、DLECTROCITY ART FESTIVAL 2017 (US Detroit)、Ars Electronica Fes 2016(オーストリア)にも出演。